



## 下水道集中制御 日立AQUAMAT-Sシリーズ

今日、わが国の下水道設備は、第三次下水道整備計画により非常な速度で全国的に整備が進められている。

下水道は、単に局地的な生活環境の改善にとどまらず、公共用水域の水質保全という高度かつ広域の役割をになっており、下水道系統は大容量広域化あるいは流域化している。したがって下水道系統および設備の構成も大規模、複雑化しつつあり、個々の設備の改良、改善はいうまでもないが、少数の人員で大規模、複雑化した系統を最も効果的かつ安全に運営できる管理システム

の要求が各方面から高まっている。

日立製作所の下水道集中監視制御システム(AQUAMAT-S)はこの要求にこたえ開発されたもので、下水処理における流入水量の変動、あるいは活性汚泥(でい)法による生物化学的反應など制御に困難な課題も、高度な予測技術、シミュレーション技術の導入によって解決し、さらに用途、規模、ランキングに応じ、それぞれの制御装置を組み合わせ、システム構成するようシリーズ化している。

大阪府鴻池処理場は、大阪市をはじめ

9市にまたがる広域下水道の終末処理場で、ここに納入された日立の集中監視制御システムは、受変電、自家発電、沈砂池、流入ゲート、汚泥処理、薬品注入、焼却など下水の流入から処理放出に至るまでを制御する。本システムは中央監視盤、シーケンス制御盤、操作盤、データ処理装置より構成され、下水機器操作をできるだけ連動化し、省力化するとともに、二段選択制御方式により高度に機能集中化が図られている。

